

創造

JA いけだ
CREATION



CONTENTS

- * 令和6年の新春を迎えて
- * 令和6年の年頭にあたり
- * 21NEWS アラカルト
- * 今月のキラメキ職員
- * 畜産部通信
- * フルーツパラダイス
- * 石田邦雄の農業拾い読み
- * 月間行事予定
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2024.

JANUARY

No.169



令和6年の新春を迎えて

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長 鈴木 雅 博

令和6年辰年の新年を迎え組合員各位をはじめ、ご家族の皆様にご挨拶申し上げます。
また、日頃より農協事業に対しまして特段のご理解とご協力を頂いております事にも重ねて御礼を申し上げます。

コロナ禍における千日を超える自粛生活が続いておりましたが、私達の生活も日常を取り戻し徐々に活動が始まりました。

農協行事も昨年の8月には合併後初めての組合員交流会を開催する事が出来ました。ご家族にも参加を頂き、清見ヶ丘のイベント広場で日高山系を眺望しながら親交を深める機会が出来ました。町内一農協として再結束した組合員各位の融和と信頼の絆を結ぶ大切な交流会であり、地域農業が一丸となり発展して行く原動力であります。

毎年11月に開催されます収穫感謝祭は、我々生産者のみならず、地域の方々や消費者に謝意を表して行っております。恒例の餅まき大会では、多数の町民の皆様に来場頂き大変な盛会でありました。収穫作業を終えるこの時期、日頃より地域農業を応援して頂いている町民の方々と共に豊穡を喜びあえる大切な催しであります。

農業は、消費者、地域の方々からの理解と応援があって成り立つ産業であり、その理解と応援は生産現場が躍進する力です。

今、私達は急激な円安による肥料や飼料、生産資材が高騰するなど生産費上昇に直面し、コロナ禍後の長引く消費低迷に戸惑う状況にあります。

さらに大きな難問となるのは気候変動が生産現場に影響を及ぼす事です。

近年地球温暖化、異常気象は耳慣れた言葉になっておりました。それが自分達にも大きな影響を及ぼす時が到来した事を目の当たりにしたのが昨年の地域農業でした。温暖化という穏やかな表現を超えた災害とも言える記録的な猛暑の影響を受けた事が農畜産物の明暗を分けた年になりました。池田町では7月25日から35度以上の日が5日連続という酷暑の夏でしたが、道内外でも統計開始以来の高温記録は秋以降も道内外、海外でも観測開始以来の高温記録と言われております。

過度な高温は畑作物、家畜に大きな弊害を出しました。開拓以来今日まで北海道、十勝では、寒冷地向けの冷害に強い品種改良を進めてきた歴史であります。今後の営農には、畑作物や家畜の管理を過去の経験から培われた技術だけではなく、猛暑酷暑に対応する為の新たな方策が重要と思われれます。

海外では昨年の夏の気温は、12万年前以来の高温だと報道されました。世界人口動態について国連の予測では、2022年に80億人を超えましたが、2050年代に100億人を突破するといわれます。気象変動と人口増加のなかで食糧生産はますます重要になります。

食糧安全保障 農業基本法が改正されますが、日本農業の位置付けにより生産者が意欲的に取り組める政策が必要であります。

多様な課題がある中、地域農業が持続的に発展するために、組合員各位と農協役員が一丸となり取り組まねばなりません。農協事業へのご指導ご協力をお願い申し上げます。

今年は穏やかな年であり、皆様のご健勝であります事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年は、第31回 J A北海道大会が開催されます。

また、第30回 J A北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次の J A北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、J Aグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、J Aグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

営 農 部

JA十勝池田町 部会長会研修旅行

11月27日～30日まで部会長会研修旅行を実施し、部会長9名が参加のもと九州地方を視察して参りました。

11月27日、JA糸島「伊都菜彩」に視察へ行きました。JA糸島「伊都菜彩」は、

JAそお鹿児島意見交換の様子



する人員の確保に大変苦慮した」とおっしゃっていました。11月29日、プロ野球の読売ジャイアンツが毎年必勝祈願に訪れる青島神社の視察と鹿児島県歴史資料センター「黎明館」の見学、JAそお鹿児島に伺い、インボイスのことや組合員の高齢化などの意見交換を行いました。11月30日、縄文時代の定住集落跡の遺跡から発掘された土器や石器、円谷プロによる精巧なジオラマ



紅葉と熊本城



コープ九州事業連合入口にて

組合員が心を込めて生産した新鮮な農畜産物の委託販売をしている直売所です。農畜産物の97%が糸島産で、2017年には売上日本一に輝いたそうです。11月28日、2013年から取引しておりますコープ九州事業連合会より、原料（野菜）の搬入から配送までの過程を見学させていただきました。担当者からは、「コロナ時期に商品に対する需要が多かったため、商品の袋詰めを



パレル・バレープラハ&GEN入口にて

等の見学ができる野原縄文の森の視察と霧島神社へ参拝見学をしに行きました。

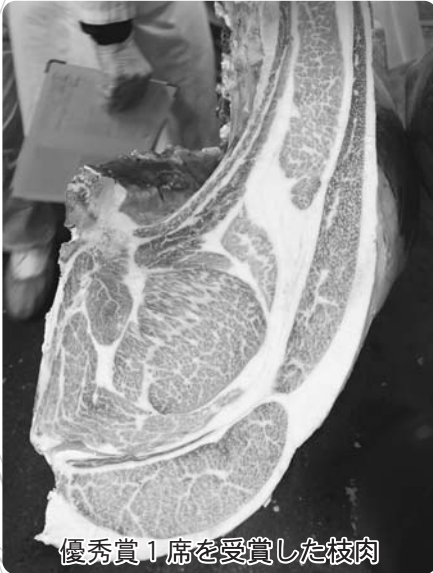
無事にすべての研修等の行程を終えることができ、とても充実した研修旅行になりました。参加部会長の皆様大変お疲れ様でした。（記事・営農部営農企画課 芳賀正明）



城見櫓担当と

畜産部

北海道枝肉共励会（黒毛和牛の部） ㈱池田の森牧場が優秀賞 1 席を受賞



優秀賞 1 席を受賞した枝肉

ホクレンが主催する標記共励会が11月25日、北海道畜産公社十勝工場（帯広市）で開催され、厳正なる審査の結果、㈱池田の森牧場（東台）出品の「好百若」号（血統：若百合×美国桜）が最優秀賞に次ぐ優秀賞 1 席に輝きました。

本共励会には道内から139頭が出品され、歩留等級・肉質等級が最上位である「A-5ランク」が115頭とハイレベルな中、同牧場の出品牛は枝肉重量492kg、霜降り度合いを示す

BMSNo.は最高の12、ロース芯面積は最優秀賞と同等の106cm²と、素晴らしい枝肉でした。

（記事・畜産部畜産課 課長 米川 武）



㈱池田の森牧場の戸田社長

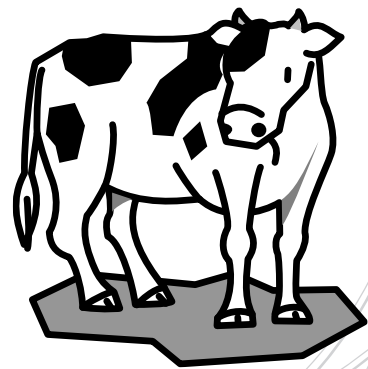
畜産部

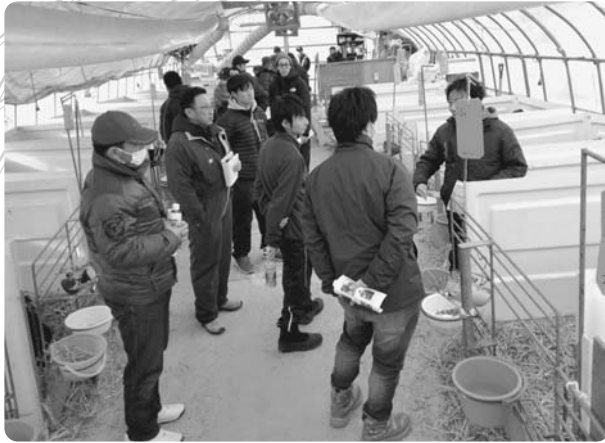
ホルスタイン「GNTP」上位1,000頭が公表 当JA管内から32頭がランクイン

11月28日、(独)家畜改良センターよりゲノミック評価成績（未経産牛）GNTP上位1,000頭が公表されました。上位100頭のうち、(有)ハピネスホルスタインズ（清見）所有牛が2位・17位・27位・37位・41位に、中野義嗣さん（信取）所有牛が79位にランクインしました。また、100位～1,000位の中には(有)ハピネスホルスタインズ所有牛が24頭、中野さん所有牛が2頭ランクインするなど、両農場の改良成果が現れる結果となりました。今後もゲノミック評価による乳牛改良が進むことを期待いたします。

※GNTP＝未経産牛から採取した遺伝子情報を用いた、遺伝的能力評価の総合指数

（記事・畜産部畜産課 課長 米川 武）





畜産部

池田町和牛生産
改良組合視察研修

12月15日、14名参加のもと上士幌町の生産現場を見学して参りました。はじめに(有)福澤農場様を訪問し、日頃の飼養管理、特に哺育・育成部門について詳しくご説明いただくことができました。つづいて日頃より

ホクレン十勝市場にて黒毛素牛を購入いただいているJA上士幌町肥育センター様を訪問。当JA管内から生産された牛が順調に肥育されている状況も確認できました。視察後は上士幌町和牛生産改良組合の皆様と昼食をとりながら情報交換を行い、有意義な時間を過ごすことができました。

(記事・畜産部畜産課 課長 米川 武)

青年部

第48回JA十勝青年部大会

11月27日にホテル日航ノースランドにて、第48回JA十勝青年部大会が開催され、当青年部からは11名の部員が参加しました。

JA青年の主張、十勝地区純農BoyコンテストではJAめむろ青年部が最優秀賞とグランプリを受賞し、めむろ青年部の勢いと熱い思いを感じました。

今年の30秒CMでは、池田町青年部で新たに組み込んだ保育園との食育に焦点を当てたCMが作成され、初めての農作業を一生懸命に頑張る子どもたちの姿が映し出され、子どもたちの笑顔からとても楽しそうな雰囲気伝わってくる心温まる作品となっていました。

また、基調講演では脳の多様性というテーマで、作業療法士の菅原洋平氏による講演がおこなわれました。理解するという思考が一人一人の脳の領域で使用する部分が異なっており、人によって理解しやすいパターンが分かれているというとても興味深い講演でした。

閉会後は4年ぶりとなる懇親会とアームレスリング大会が開かれ、総勢500名を超える十勝の青年部員により盛大におこなわれました。アームレスリング大会では池田町青年部を代表して、塩谷直道くんに出場していただきました。1回戦目から強敵との対戦となり、惜しくも負けてしまいましたが、青年部の思いを一身に背負い熱いアームレスリングを繰り広げてくれました。

それからの懇親会では、久しぶりに再会する盟友との交流を深めることができ、それぞれの繋がりを広げられる有意義な時間を過ごせたと思います。

(記事・青年部 監事 丸山 光)



青年部

全道大会



12月7日～8日に札幌パークホテルにて第72回全道JA青年部大会が行われました。全道から700名ほどの人数が参加しておりJA十勝池田町青年部からは部長、副部長2人、若手部員1名の4名が参加しました。

各種の発表大会でどれも熱のこもった発表がされた中、JA十勝池田町青年部からは、道青協の年間活動テーマに東台の河口智樹さんが出した「夢の未来へ駆け上がれ」が採用されており、十勝地区においても30秒CMでJA道青協会長賞に芽室、JA女性協会長賞に本別、農村風景賞に陸別、農人賞に幕別と十勝から4つも賞を受賞するというとても素晴らしい成績となりました。

この2日間を通して農業への魅力、意識の高さに自分自身もとても刺激を受けました。この経験を活かし今後の活動に取り組んでいきたいと思います。 (記事・青年部 塩谷直道)

青年部

冬季研修

12月12日に農協の大会議室にて冬季研修を行いました。講師を農産課の高田昌廣氏に依頼し、主に病害虫と防除について、また金時の品種試験結果についての講義をしていただきました。

害虫、病害をたくさん
の写真付きで説明していただき、とても理解が深まりました。スプレーヤーのお話ではノズルの違いによる散布の様子の違いや、少量散布についてお話していただきました。これからの営農にとっても役立つ内容だったと思います。金時の品種試験は植え付けから収穫まで青年部の試験圃場で高田氏と共に行いました。「秋晴れ」という新品種を試験したのですが、収量もあり、色も綺麗で期待できる品種だと感じました。

夜は忘年会を十勝川温泉第一ホテルで行い交流を深めました。大変だった一年を振り返ると共に、次年度への活力となりました。 (記事・青年部 副部長 八田祐基)



女性部

JA十勝地区女性協議会
創立70周年記念式典

12月5～6日、JA十勝地区女性協議会創立70周年記念式典に参加いたしました。去年はコロナ禍により人数制限がある中での開催でしたが、今年は役員の外に支部長

も参加し、この大きな節目を迎えることができました。1日目は各農協の女性部で作成した約3分程度の単組紹介動画の発表を行いました。式典終了後の祝賀会では、おいしいご飯を食べながら、クイズ大会や平会長をはじめとする実行委員によるダンスや歌の発表があり、大盛り上がりの中1日目が修了しました。2日目はシンガーソングライターの半崎美子さんによる記念講演が行われ、きれいな歌声と心温まる歌詞に感銘を受けました。

この記念式典を通してJA女性組織の意義を再確認する良い研修になったと思います。

(記事・営農部営農企画課 長谷川理子)



女性部

冬期レクリエーション
開催!

12月9日、農協大会議室にて「冬期レクリエーション」を開催し、26名の方が参加しました。今回は講師に浜名香おり先生をお招きし、ペーパークイリ



ングで「お雛様飾り」を作りました。細長い紙をくるくる巻いていく作業が始まり、最初はゆっくりでしたが少しずつ慣れていったように思います。パーツが出来上がり、その配置をどうしようかと悩みながらもそれぞれ個性ある素敵な作品に仕上がりました。

久しぶりに顔を合わせ、お話ししながらの作品作りはとても楽しい時間でした。

(記事・女性部 副部長 神谷一恵)

こだま会

忘年会 開催！

12月13～14日に「忘年会」を開催しました。今回は十勝幕別温泉グランヴィリオホテルへ宿泊しま



した。夕食会場では個人ごとの御膳料理をいただきながら懇親を深め、ビンゴ大会を行いました。

久しぶりに集まることができて皆さんとても楽しそうに交流しておりました。

(記事・営農部営農企画課 長谷川理子)



フレッシュミズ

フレッシュミズ 研修会・忘年会の開催！

12月16日に冬季研修会と忘年会を開催いたしました。バスに乗り、「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」へ向かいました。連続テレビ小説なつぞらのセットを模した施設は冬季休業期間だったため入ることはできませんでしたが、各々買い物などを楽しみました。

忘年会を兼ねた昼食では、「日航ノースランド帯広」にて美味しい食事をいただきながら談笑し、ゆっくりとした時間を過ごしました。

最後に十勝毎日新聞社の見学へ行きました。印刷工場や編集部、OCTVやFMラジオをスタジオなどに案内していただき、実際にラジオの生放送も拝見させていただきました。テレビやラジオ、新聞の電子版と幅広いかたちで十勝に密着した情報を発信していて、改めて身近に感じる機会となりました。

(記事・フレッシュミズ会長 穂田亜弥)



女性部

食品加工サークル 例会開催！



12月12日に、
食品加工サークルの1回目の例会を開催いたしました。

今回は「トマトケチャップ」「豚丼のタレ」を作りました。トマトケチャップは夏に採れたトマトをみなさんで持ち寄って作ります。昼食には作り立ての豚丼のタレを使用した三色丼を食べて、交流しました。（記事・営農部営農企画課 長谷川理子）



女性部

習字サークル例会開催！



12月13日に、習字サークルの例会を開催いたしました。講師に東台地区 野上真耶先生のご指導の下、鉛筆で氏名を書く練習などそれぞれ自由に書きたい字やうまくなりたい字の書く練習をしました。皆さんでお話をしながら楽しんでおりました。

（記事・営農部営農企画課 長谷川理子）



女性部

手芸サークル 例会開催！

12月14日に、手芸サークルの例会を開催いたしました。講師に鳴海先生をお招きし、「エコクラフト」を作製しました。好きな色の紙バンドを選び、かごやバッグ作りをしました。

（記事・営農部営農企画課 長谷川理子）



5 S 活動推進委員会

JICA北海道
センター視察研修

12月6日、5 S 推進委員にてJICA北海道センター（帯広）の視察研修に行ってきました。今回の視察目的は農協での日常作業や5 S 推進活動の内容がSDGsに通じるものがあると考え、各委員がSDGs 17項目を事前に調査・勉強し、質問内容の準備をして今回の研修に臨みました。

JICA北海道（帯広）は、市民参加型の国際協力を推進しており、北海道・十勝が誇る多様な技術と発展の経験を途上国の人づくり・国づくりに役立てることで、途上国の人々との心のふれあいを育む為に、道東における国際協力の拠点として、1996年にJICA北海道（札幌）とともにオープンしています。



このたび視察致しました帯広センターは十勝の強み（農業の技術・経験）を世界の141途上国へ提供し、相手の問題を解決して途上国との繋がりを目的として活動しています。

今回の研修で、今後の5 S 活動や普段の日常業務に通じるものが多く、研修の成果を日々の意識改革に取り入れていきたいと思えます。

（記事・5 S 活動委員委員長 本郷将太）



営農部

ドローン農薬散布実演会

11月13～14日に町内で農薬散布の作業委託を受けている㈱小杉商店の協力の下、池田・高島の両地区で散布用の圃場をお借りしてドローンによる農薬散布の実演会を行いました。当日は風が強くなる時間もありましたが、晴天にも恵まれ、DJI社のT30とNTT社のAC101の2機種を使っての実演となりました。

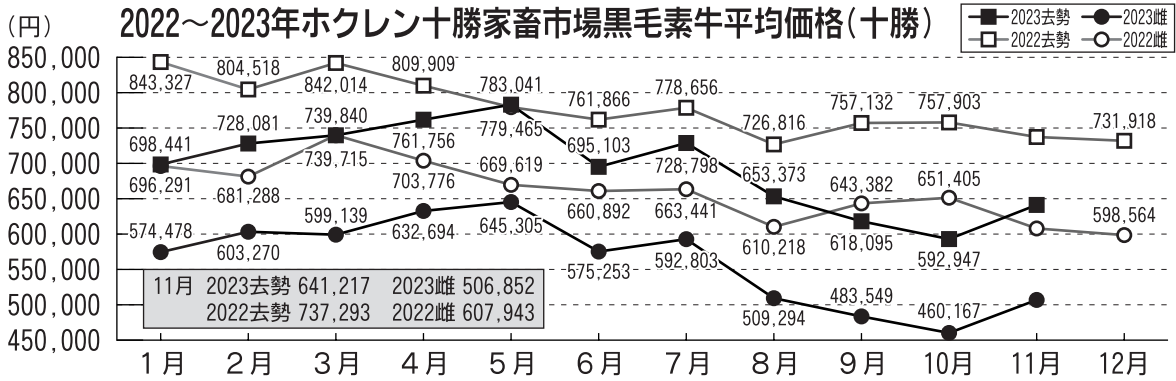
作業をしながら小杉商店の川嶋社長に解説いただき、参加者からの質問にも丁寧に返答いただいております。良い実演会になったのではないかと思います。

（記事・営農部営農企画課 高野聖史）





畜産部通信 畜産部 畜産課



11月黒毛素牛出荷区分別成績

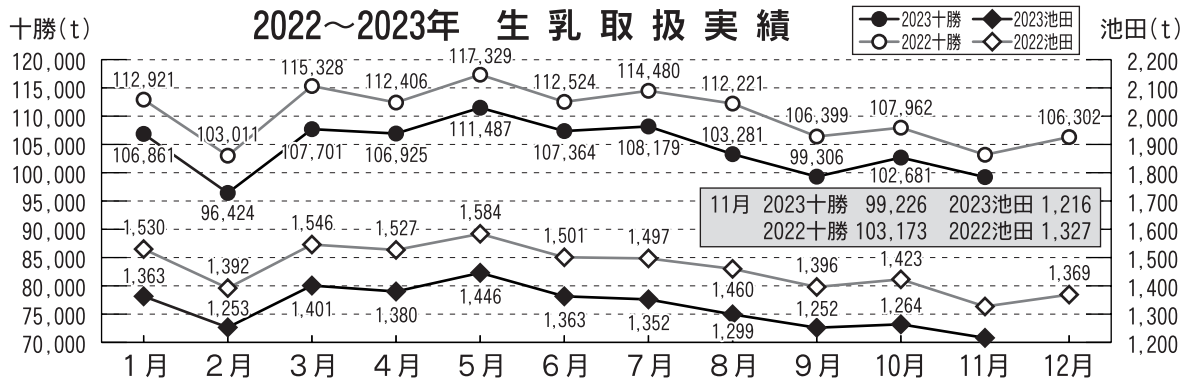
【金額(円)】

去勢	取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
十勝	1,318	641,217	48,270
池田	50	660,528	53,369
雌	取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
十勝	986	506,852	46,685
池田	53	498,321	-15,379

11月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
4日 18日 25日	黒毛去勢	A-5	2,302
		A-4	1,905
		A-3	1,558
	黒毛雌	A-5	2,287
		A-4	1,883
		A-3	1,528
F1去勢	B-4	—	
	B-3	—	
	F1雌	B-4	—
B-3		1,090	



11月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
13日	乳牛初妊	607	471,300
	乳牛経産	68	340,774
16日	乳牛育成	474	241,072
28日	乳牛初妊	494	454,569
	乳牛経産	68	336,632

11月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	63,678	+15,678
F1オス初生	83,763	-2,694
F1メス初生	45,647	+1,731
黒毛オス初生	327,754	+8,776
黒毛メス初生	240,860	+24,483
廃用牛	168,897	-4,201

野菜ソムリエ上級プロ
KAORUの
フルーツ
パラダイス

イラスト：小林裕美子

ブンタン

秋冬が旬！ 豊かな香りと上品な味わい

ブンタンのプロフィール

- 【分類】ミカン科ミカン属
- 【原産地】東南アジア
- 【おいしい時期(旬)】10~3月ごろ
- 【主な栄養成分】ビタミンC、ビタミンE、カリウム、クエン酸、ペクチン、リモネンなど

選び方



ブンタンのいろいろ

「文旦」「ザボン」や「ボンタン」とも呼ばれる

土佐文旦
最も生産量の多い品種の果肉は淡い黄色でしっかりしている果汁は少なめで爽やかな甘味と穏やかな苦味の特徴

水晶文旦
高知県で誕生した「晩王柑」と「土佐文旦」の交雑種。果肉は水晶のような光沢があり、ジューシーで柔らかい濃厚な甘味と爽やかな酸味の特徴

晩白柚 (ばんぺいゆ)
熊本県八代の特産。世界最大級のかんきつ(2kg以上のものも)。迫力ある外観と香りの良さが特徴で飾って楽しむかんきつとも皮が厚く2か月程度日持ちする

大橘
鹿児島県原産の鹿児島県では「サワーポメロ」、熊本県では「パール柑」の名で流通している。香りが良く、苦味は控えめで爽やかな甘酸っぱさ

安政柑
江戸時代の安政年間には広島県因島で誕生。甘味と酸味のバランスが良く、爽やかな風味

阿久根文旦
鹿児島県阿久根地方の特産。「阿久根ボンタン」「本田文旦」とも呼ばれ、「ボンタンアメ」にも使われる。白いワタの部分が厚くざぼん漬けなどに利用される

平戸文旦
長崎県の特産。果皮は分厚く、品種改良にも使われる

保存方法

直射日光を避け風通しが良い冷暗所で保存



皮が厚いので、保存状態が良ければ1か月弱日持ちする

箱に保存 注意



長期保存は水分が抜けて食感が悪くなる……

外気に触れないよう新聞紙などで隙間をふさぐ
しばらく置くと酸味が和らぎまろやかな味わい

冷蔵保存

乾燥しないようポリ袋などに入れるか、ラップに包み野菜室へ



注意
冷やし過ぎると低温障害が出て風味が落ちる……

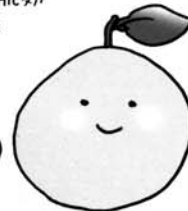
ブンタンのチカラ

ビタミンC
ミカンなど比べても含有量が多い
風邪予防、美肌効果、疲労回復に



リモネン
皮に含まれる香り成分。精油をリラックスさせる効果に期待

ビタミンE
血行促進
冷え性改善に



ペクチン
食物繊維の一種。薄皮に多い
便秘改善、血中コレステロールの低下作用に期待

カリウム
むくみ予防
高血圧予防に

クエン酸
疲労回復や食欲増進に

食べ方・楽しみ方

甘味と酸味のバランスが良くすっきりとした上品な味わい。後味に優しいほろ苦さを楽しめる



皮が厚いので、ナイフで少し切り込みを入れてからむく

薄皮も厚くて苦味があるため、果肉を取り出して食べる

白いワタの部分も砂糖漬けなどにして食べられる



粒がしっかりと歯切れが良いので、料理にもお薦め



より良いサービス パーソンを目指して

(有)石田コンサルタントオフィス

代表取締役

石田 邦雄



また、新しい年が開けました。本年もよろしくお願ひいたします。今回は年の始めでもあり基本的な話をしましょう。JAは「総合サービス業」といわれています。ならば「サービス」とは何でしょうか？これはラテン語の「servitium」からきており、直訳をすると「奴隷働き」になります。その言葉からは「顧客に懸命に媚をうる」：そんな姿が思い浮かんできます。「サービス」がもしそうだとすれば、とても寂しく、「サービス業に勤める誇り」などは縁遠いものになってしまいます。それは前近代的なサービスであり、今日のように成熟化した社会においては、その

意味が大きく異なるのではないのでしょうか。「ビジネス」、もっと幅広く考えて「仕事」とは、お互いに「WIN-WIN」の関係があり初めて成り立ちます。近江商人の家訓の一つである「三方よし」の精神がそれに当たるかもしれません。「売り手よし。買い手よし。世間よし」ですが、ただ私には今日の時代背景もあり、それにもう一つ「働き手よし」を加えて「四方よしの経営を」などとお話をする昨今ですが、その「サービス」は、「物を介してお客様と接する」、いわゆる「物販業」とは何かと違いがあります。最大の違いは提供するのが「有形か、無形か」ということです。

それを起点に考えるとサービスの特徴としては「形がない」がゆえに、「事前の認識が困難である」、「やり直しがきかない」などがあります。すると物販業以上に重要になるのが「提供に際しての人の関わり方がどうか？」です。そこで今回は、営業を伴う社員などによく話しをする「ザイアンスの法則」をご紹介します。これは次の3つから構成されています。まず一つ目。「人は知らない人には攻撃的、批判的、冷淡に対応する」です。これは私達の日常生活の中でも、よくみられることではないでしょうか。人と接する時に「相手かどのような人か？」を知っていることは重要で、初対

面の人には、つい、つれなく対応をしてしまう…それはある意味、人としての当然の心情といえるかもしれません。二つ目は「人は会えば会うほど好意を持つ」です。もちろん、感情を持っている人間ですから、「好き、嫌い」があり、「うまの合う人、合わない人」がいて当たり前です。それはありつつも、「会うごとに関係性が深まる」のが一般的で、としたら、顔を合わせ話をする機会をより多く持つことはとても大切です。三つ目は「人は相手の人間的側面を知ったときに好意を持つ」です。「人は理屈よりも感情で動く」と昔から言われてきましたが、それとも関連し、「どれだけ相手を深く知っているか」が重要なことになります。私はその一つにその人が持つ「人間くささ」があるように思います。それを感じられる関係づくりがポイントかと。その為には「自らが心を開くこと」です。そこで私が人と付き合う際に

念頭におくのが、格好のよい話ばかりしない…むしろあえて「へまを語る」…そうした懐深い人でありたいと思っています。そうすることが、互いの中にある「心の構え」をとることに役立ち、相手も同様な振舞いになるものです。これが逆だしたら表面的で薄っぺらな会話に終わってしまいうきらい大です。

この「ザイアンスの法則」は、JA職員が組合員の方との関係性を築く上でもとても大切です。業界でもあるではありませんか。「稲は足音を聴いて育つ」と。まさにその精神ですね。用事がある時はもちろんのこと、それがなくても気軽に「ご機嫌伺い等で顔を出す機会を増やすこと…どうやらこれはサービスパーソンとしての「仕事の質を上げる」大切な方法の一つといえそうです。



月間行事予定

行事予定は変更になる場合がございます

月日(曜日)	行 事 予 定
1 / 10 (水)	ホクレン和牛市場 (池田上場日)
11 (木)	定期ヨーネ病検査・ワクチン接種巡回~1/12
15 (月)	ホクレン乳牛市場
16 (火)	ヨーネ病5条検査(乳牛)~1/17 女性部冬季交流会~1/17
18 (木)	ホクレン育成市場
19 (金)	フレッシュミズ講習会・忘年会
22 (月)	ホクレンF 1市場 (池田上場日)
23 (火)	ホクレンF 1市場 女性部冬季生活講座~1/24
24 (水)	ホクレンF 1市場 ヨーネ病5条検査判定(乳牛)
25 (木)	ヨーネ病5条検査確定検査(乳牛)
26 (金)	こだま会冬季健康管理講習会
2 / 1 (木)	ホクレン乳牛市場
6 (火)	ホクレン和牛市場 (池田上場日)
7 (水)	ホクレン和牛市場
8 (木)	定期ヨーネ病検査・ワクチン接種巡回~2/9

今月の1枚



11月14日に
避難訓練を
しました!

職員が消火活動の練習をしている様子です。

編

集

後

記

皆さんは年末年始どのようにお過ごしになりましたか？私は成人式があるので、同級生に久しぶりに会えることと振袖を着ることがとても楽しみです。

2024年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」になります。「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」と言われ、春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になるそうです！この意味のように2024年は、営農環境の変化に俊敏に対応し、的確な営農サポートを行えるよう邁進するとともに、農産畜産事業に実り多き一年が訪れることを願っております。2023年大変お疲れ様でございました。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。(長谷川)

理事会の動き

第 10 回

(令和5年12月21日)

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 令和5年産豆類の集荷状況について
- (4) 令和5年産契約栽培豆類の精算について
- (5) 共計品の精算について
- (6) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (7) 11月末基準仮決算について
- (8) 内部監査報告について
- (9) みのり監査法人期中1監査報告について
- (10) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (11) コンプライアンス事故報告について
- (12) コンプライアンスプログラムの取組状況について
- (13) 令和5年度上期分の相談、紛争の定期報告(信用事業・共済事業)について
- (14) 令和5年度中途採用者について
- (15) 農家経済特別対策チームの対応状況について
- (16) 日本政策金庫(農林水産事業)資金の優先弁済に係る覚書の取り交わしについて
- (17) 経営支援協定書の締結について

★ 議 案 ★

- (1) 理事に対する資金の貸付について
- (2) 自治監査報告書について
- (3) みのり監査法人令和6年度監査報酬について
- (4) 北海道常例検査の指摘事項に対する改善・対応状況等の報告
- (5) 不良債権処理方針について
- (6) 役員選任実施事項について